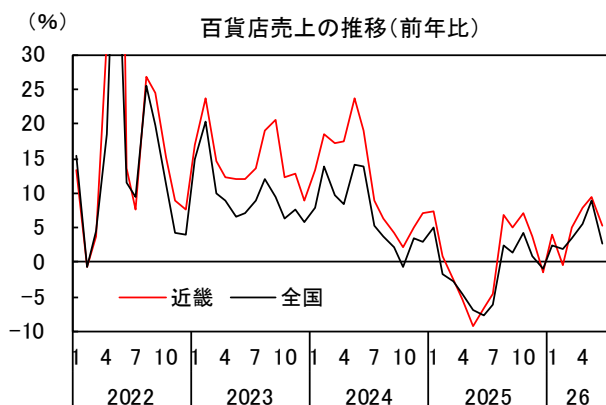
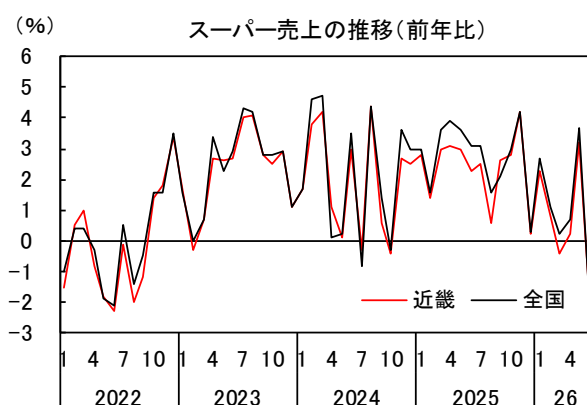


関西の景気トピックス【消費関連（26 年 6 月）】

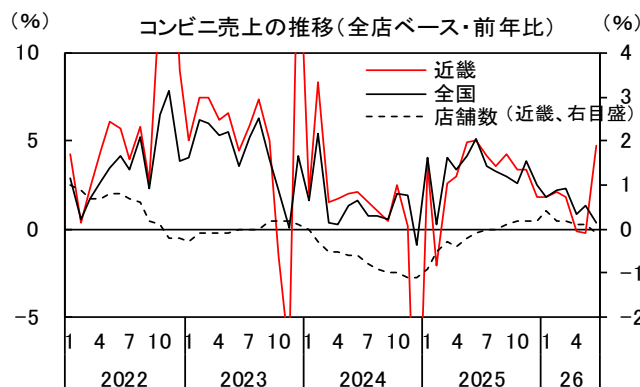
- 26 年 6 月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス 5.3%と 4 か月連続の増加となった。中国の渡航自粛は続いているものの、中国以外の訪日客は増えているほか、前年が円高の進行等で売上が悪化した反動もあり、前年を上回る動きとなった。一方、スーパー売上の 6 月は前年比マイナス 2.1%と、衣料品などの販売不振が響き、3 か月ぶりの減少となっている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、6 月は全店ベースで前年比プラス 4.7%と 3 か月ぶりの増加となった。全国に比べても高い伸びとなっていることから、一過性の動きか否かを含め、次月の動きが注目される。
- 4 月以降、売上が前年を大きく上回っていた家電については、6 月は前年割れとなった。これまでの好調はエアコンの 2027 年問題による買換えの動きであったが、例年は 6 月に大きく伸びるエアコンの販売が前倒しとなったことで、結果的に低調な動きとなった。



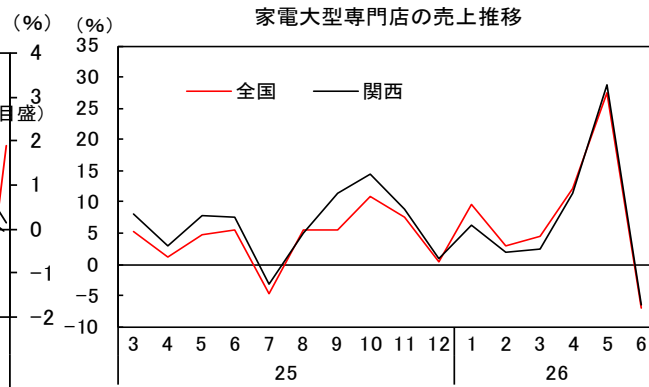
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)経済産業省「商業動態統計」